

**Ⅷ 審議会からの提言**

総合スポーツセンターの整備にあたって、よりよい施設とするために、配慮が必要な点や施設の設計において必要な検討内容を審議会からの提言として取りまとめました。

- 施設の東西両方にエントランスを設ける、施設を貫通するような動線を確保するなど、西側からの歩行者のアプローチ動線だけでなく、新たに設ける多目的広場や駐車場、宗像ユリックスなどの周辺施設からのアプローチ動線を視野に入れてエントランスの位置や動線を検討する必要がある。
- バスによる来館については、駐車場に停車して選手が歩いて入館する場合もあれば、施設入口までバスで寄り付いて選手を下ろしてから駐車場にバスを停車する場合もある。それらに柔軟に対応できるようにエントランスの位置や規模を検討する必要がある。
- 器具庫からメインアリーナ、サブアリーナへの器具の搬入のしやすさ、外部からの大きな機材の搬入のしやすさも想定した搬入動線を検討する必要がある。
- 宗像ユリックスにはレストランがあるが、総合スポーツセンターを利用する人は利用しづらい。総合スポーツセンターでもある程度飲食ができるような配慮を検討する必要がある。
- 充実した駐車場を整備することはもちろんのことであるが、車を運転できない人のためにもバスの便を増やすなど、公共交通の充実も期待したい。
- 設計の段階にあたっては、基本構想・基本計画で述べられている内容をベースとしながらも、よりよい施設とするための新たな提案や発想がある場合は柔軟に対応していただきたい。